２０２２年１２月　キューバ情勢

【概況】

１　内政

（１）共産党中央委員会第５回会議

（２）人民権力全国議会第９立法期第１０回通常会期の開催

（３）閣僚評議会の開催

２　外交

（１）ラソ人民権力全国議会議長のロシア、ベラルーシ、トルコ訪問

（２）ディアスカネル大統領のカリブ諸国訪問

（３）ベラスケス教育大臣の赤道ギニア訪問

（４）米国下院議員団のキューバ訪問

（５）渡辺国際体操連盟会長のディアスカネル大統領表敬

（６）カブリサス副首相のアルジェリア訪問

（７）ロドリゲス外相の７７カ国グループ（G77）プラス中国特別閣僚会議への出席

（８）デイビス・バハマ国首相のキューバ訪問

（９）ディアスカネル大統領とプーチン・ロシア大統領の電話会談

（１０）ディアスカネル大統領とロペス・オブラドール・メキシコ大統領の電話会談

３　経済

（１）ヒル副首相兼経済企画大臣のキューバ経済の現状及び来年の経済計画についての報告

（２）国家統計局（ONEI）による観光客数の発表

【本文】

１　内政

（１）共産党中央委員会第５回会議

　９日から１０日、共産党中央委員会第５回会議が行われ、政治局員による今年を総括する発表が行われた。発表では、計画で想定していたように輸出が増加しなかったこと、食糧、燃料の輸入価格が上昇したことが報告された。また、経済が２０１９年の水準に達するためには貿易赤字を解消する必要があることが述べられた。

（２）人民権力全国議会第９立法期第１０回通常会期の開催

　１２日から１４日にかけて、人民権力全国議会第９立法期第１０回通常会期が開催さ

れ、ヒル副首相兼経済企画大臣によるキューバ経済の進捗状況に関する報告（以下３（１）参照）、ボラーニョス財務価格大臣による国家予算に関する報告、その他の課題についての報告や法律の承認等が行われ、ディアスカネル大統領による閉会演説が行われた。

（３）閣僚評議会の開催

２９日、年内最後となる閣僚評議会が開催された。ディアスカネル大統領は、２０１９年後半から経済が厳しい状況に直面しており、２０２２年はキューバ国民にとって非常に困難な年であったと述べ、現状を打破するために正しい方向に努力を結集することが必要であると主張した。

２　外交

（１）ラソ人民権力全国議会議長のロシア、ベラルーシ、トルコ訪問

ラソ人民権力全国議会議長は、１１月３０日から１２月２日までロシア、２日から４日までベラルーシ、５日から７日までトルコを訪問した。ロシアではロシア連邦議会評議会で演説を行い、両国議会間協力のためのハイレベル委員会を設立した。ベラルーシでは、アンドレイチェンコ下院議員及びカチャノワ国会議長との会談を行った。トルコでは、チャヴシュオール外相及びセントップ国会議長と会談を行った。

（２）ディアスカネル大統領のカリブ諸国訪問

３日から６日、ディアスカネル大統領は、セントビンセント及びグレナディーン諸島、バルバドス、グレナダを訪問し、６日に開催される第８回カリコム・キューバ首脳会議に出席した。また、バルバドス・キューバ外交関係樹立５０周年を祝うためにバルバドスを訪問し、ディアスカネル大統領は、メイソン・バルバドス大統領を大統領府に表敬訪問し、両国にとって重要な事項について幅広く協議した後、モトリー首相との会談を行った。セントビンセント及びグレナディーン諸島においては、ゴンザルベス首相と会談を行った。

（３）ベラスケス教育大臣の赤道ギニア訪問

８日、ベラスケス教育大臣は、ンバソゴ赤道ギニア大統領就任式に出席するため、赤道ギニアを訪問した。ベラスケス大臣は同大統領と会談を行い、外交関係樹立５０周年となる両国の良好な協力関係を確認した。

（４）米国下院議員団のキューバ訪問

１０日、ディアスカネル大統領は、キューバを公式訪問したのジェームズ・マクガヴァン下院規則委員会委員長（民主党、マサチューセッツ州第２区）、マーク・ポカン下院議

員（民主党、ウィスコンシン州第２区）及びトロイ・カーター下院議員（民主党、ルイジアナ州第２区）（ともに同委員会委員）で構成される米国下院議員団と会談し、二国間関係及び共通の関心事項につき意見交換を行った。会談の中でディアスカネル大統領は、米国のトランプ前政権が課した経済封鎖及び最大限の制裁措置が現在も有効であることの弊害を強調するとともに、キューバが米国と敬意に満ちた建設的な関係へと移行する意志があることを改めて表明した。

（５）渡辺国際体操連盟会長のディアスカネル大統領表敬

１２日、ディアスカネル大統領は、キューバを訪問した渡辺守成国際体操連盟会長と会談し、キューバの体操競技の発展及び協力関係の強化を目的とする渡辺会長の来訪に謝意を表明した。

（６）カブリサス副首相のアルジェリア訪問

１３－１６日、カブリサス副首相はアルジェリアを訪問した。この訪問にはデ・ラ・オ・レヴィ・エネルギー鉱業大臣が同行し、アルジェリアエネルギー鉱業大臣との会談、エネルギーに関する協定締結のための委員会の設立、アルジェリア国産品博覧会の視察等を行った。

（７）ロドリゲス外相の７７カ国グループ（G77）プラス中国特別閣僚会議への出席

１５日、ロドリゲス外相はニューヨークで開催された７７カ国グループ（G77）プラス中国特別閣僚会議に出席し、演説を行った。

（８）デイビス・バハマ国首相のキューバ訪問

１８－１９日、デイビス・バハマ国首相がキューバを訪問した。ディアスカネル大統領を表敬し、マレーロ首相との間で首脳会談、ポルタル保健大臣との会談を行った。

（９）ディアスカネル大統領とプーチン・ロシア大統領の電話会談

２８日、ディアスカネル大統領は、プーチン・ロシア大統領と電話会談を行い、二国間の戦略的な協力関係の発展への関心を表明した。

（１０）ディアスカネル大統領とロペス・オブラドール・メキシコ大統領の電話会談

２８日ディアスカネル大統領は、ロペス・オブラドール・メキシコ大統領と電話会談を行い、二国間の良好な関係への満足を表明し合い、ディアスカネル大統領はメキシコのキューバに対する寛大な連帯と支援に深く感謝した。

３　経済

（１）ヒル副首相兼経済企画大臣のキューバ経済の現状及び来年の経済計画についての報告

　１２日、ヒル副首相兼経済企画大臣は、人民権力全国議会において、キューバ経済の現状及び来年の経済計画について、下記の通り報告した。

ア　２０２２年のＧＤＰ成長率は約２％となる見込みで、目標の４％を下回る。

イ　キューバ経済は回復の兆しを見せている。輸出額は昨年に比べて増加したが、新型コロナウイルス流行前の水準には達しなかった。国内生産の回復が遅れており、資材及び食料が不足しているため、供給が需要を下回っている。

ウ　インフレについては、本年１０月時点で前年同月比で約４０％上昇した。本年１月から１０月までの累積インフレ率は約２９％となり、購買力が低下し、国民の消費に影響を与えている。外貨の入手難、国内生産の減少、供給不足の結果であるインフレは、最も複雑で緊急性の高い問題の一つであり、解決のためには国内供給量の増加、財政赤字の抑制、特定分野の支出削減、外貨獲得の増加が重要。

エ　本年８月に政府が実施した外貨購入時の公定為替レートの変更を通じて、政府は１，５００万米ドル以上、同変更前の約１０倍の外貨を獲得した。このうち約９００万米ドルは、国民への外貨現金両替用に市場に還元され、残りはキューバ・ペソで販売するための一定の投入資材支払いのために国営企業に投資された。

オ　中小零細企業等の認可については、１１月末で５，８９５社の中小零細企業と５９の協同組合があり、１０万人以上の新規雇用を創出した。

（２）国家統計局（ONEI）による観光客数の発表

　２３日、国家統計局（ONEI)は２０２２年の１０月までの観光客数は約１３７万人であったことを報告し、２０２２年内の観光客合計は約１７０万人となる見込みを発表した。

（了）